

就活日誌

就職先：医科大学職員

◎活動スケジュール

10月

就活を始めなければと漠然と思いつつも、何をすればいいのかわからない。とりあえず、見よう見まねで就職サイトなるものいくつか登録してみる。

11月

ISFJの論文提出の締切が迫り、忙しさのあまり就活どころではない。でも、周りがどんどん動き出しているので初めて合同説明会に参加。が、参加したことに満足し、貰った資料は即部屋の片隅へ。

12月

合説や公務員の採用説明会にいくつか参加するも、相変わらず資料だけが部屋の片隅にたまっていく。ISFJの発表が無事に終わり、就活に本腰を入れねばと決意を新たにするも、やる気スイッチの切り替えが出来ない。民間就活と公務員試験の勉強で共倒れしてしまうのではないかと危機感ばかりが募る。

1月(以下、公務員試験対策と民間就職活動の軌跡を分けて説明します。)

公：公務員試験はもはや独学では不可能と判断し、通信教育を始めるもあまりにつまらな過ぎて全然やらず(結局送られてきたテキスト全体の1/5もやらなかった)。

民：関東近郊の「私立大学職員」、「金融機関」、「団体職員」にターゲットを絞る。

2月

公：専門試験のある県庁試験は通信教育に頼っても厳しいのではないかと判断し、5月の国立大学職員(教養試験だけしかない)に全力を注ぐことに(結果的にそれがSPIを含めた民間の筆記試験対策にもなった)。

民：都内私立大学職員の個別セミナーにいくつか参加。

3月

公：専門試験の重圧から解放されたことで俄然やる気になるも、頼ったのは通信教育ではなく、市販の過去問集。

民：都内私大職員の個別セミナーラッシュで毎日のように東京へ。同時に私大職員を含め、金融機関や団体職員のエントリーシートの締切がピークを迎え、カレンダーが就活情報で埋まる。また、初選考となるGDを突破するも、続く初面接で散り、大いにへこむ。

4月

公：教養試験の勉強を続けつつ、受験予定の国立大学職員採用試験や特別区、独立行政法人等の採用試験申し込みを行う。

民：筆記試験や1次面接といった選考を週に2~3つくらいのペースでこなす。選考が無い日はSPIや公務員試験の勉強に充てる。

5月前半

公：引き続き国大職員試験を見据えた教養試験の勉強だけを集中的に行う。特別区の筆記試験があり、事前に申し込みだけはしていたが、専門試験の勉強を捨てていたので、受験を辞退。

民：4月に行った選考の結果が出揃う。筆記試験は確実に合格するもほとんど1次面接で落とされるという受け入れ難い事実と直面。実質的に選考に残っていたのは地元の金融機関の1行のみ。かなり焦りを感じつつも、面接は2つしかいれず、5月後半の国大職員試験に賭ける。

5月後半

頼みの綱の国立大学法人職員の筆記試験を受験。が、予想以上に難しく、出来に絶望。とりあえず、教養試験だけで受けられる文科省系の特殊法人(厳密には公務員ではないが)の試験も受験。6月の県庁試験に向けて捨てていた専門試験の勉強を始める。

民：4月から選考を受けていた地元金融機関から音沙汰が無くなるも、別の地元金融機関から1次面接通過の連絡をいただく。そして5月後半の2週間で、同金融機関の2次面接、最終面接をこなす。最終面接後、同日中に念願の内々定のお電話を賜り一安心。

6月

公：文科省系の特殊法人の1次面接、最終面接を行い、最終面接日中に内定のご連絡を賜る。志望度が高かっただけに、就職活動の終了を考えるも、周囲の助言もあり県庁の筆記試験を受験。国大職員対策のストックがあり、教養試験だけは妙に手ごたえを感じるも、付け焼刃の対策で、専門試験は太刀打ち出来ず。末日に国大職員の結果発表があり、出来には絶望していたものの合格。

民：都内の私大職員の2次面接や地元の医科大学職員の筆記試験及び1次面接を行う。

7月

公：県庁筆記試験が奇跡的に合格していたことが判明。

民：地元金融機関の内定を辞退。都内私大の2次面接は落ちるも地元医科大学の1次面接は通過。最終面接を行う。

8月

公：県庁の1回目、2回目面接試験を行う。

民：地元医科大学から内定通知を賜る。そして地元医科大学職員と都内勤務の特殊法人職員のどちらを選ぶべきか猛烈に迷う。

9月

公：県庁の面接の結果が出る。あっさりと不合格。

民：悩んだ末に特殊法人は辞退。地元の医科大学への入職を決め、就職活動を終了。

◎就職活動を振り返って

自分の就職活動を振り返ってみると、綱渡り状態の時期も少なからずあったように思い

ます。公務員試験勉強と民間企業の就職活動を同時に行うなら相当な気合いが必要だと前年の先輩方から助言を頂いたはずなのに、やる気も計画性も中途半端で、公務員試験においては専門試験を捨てるという品の無い作戦を取らざるをえなくなってしまいました。

結果的に見れば、専門試験を捨てて教養試験に特化したことで、民間就職活動の筆記試験においては無類の強さを発揮することができ、公務員試験の筆記もかろうじて通過することが出来ましたが、これらは結果オーライで済まされるものではありません。

運任せで、反省点も多々ある就職活動でしたが、一度辞めかけた就職活動を続け、最終的に自分の納得する就職先に出会えたことには大変満足しています。就活を通しての反省点を肝に銘じて社会人としての生活に活かしていこうと思います。

◎就職活動のポイント

最後に、自らの就職活動を通してポイントになったことを、厚かましくも後輩たちへのアドバイスとして載せておこうと思います。

1.就活において最も大事なことは“慣れ”

就職活動において鬼門になるのは面接試験です。そして、その面接を上手くこなすためには、面接の場数を踏んで慣れるしかないと思います。

面接では誰しも緊張します。普段からどんなに素晴らしい考えを持っていても、緊張のあまりそれを伝えられなければその人の魅力は伝わりません。緊張状態の中で、いかに自分をコントロールするか、自分の考えを伝えるかが面接において最も重要なことであり、それらはどんなに面接の対策本を読んでも身に付くことではありません。結果も確かに重要ですが、場数を踏む中で、自分が考えていることをどの程度伝えられるようになったのか、緊張の中でどれだけ自分をコントロール出来るようになったのか、そういったことのほうが長い就職活動の中では、個々の面接の結果よりもずっとずっと大事なことだと思います。

2.選考は落ちるもの

就職活動が上手くいかない学生を腫れものを触るように励ます記事がたまに新聞に載っていたりしますが、はっきり言って選考は落ちるものです。どんなに頑張っても落ちる時は落ちる、それくらいのものだと思っておいたほうがいい様な気がします。でも、それはその企業を受ける学生が皆、この企業に入りたいと思って一生懸命に自分を表現した上で結果ですから、恥ずかしいことはありません。ただ、いざ選考に落とされるとやっばり結構へこみます。そんな時は、盛大にへこんでください。そして何が悪かったのかよく考えてみて下さい。

現実から目を背けるよりは現実を直視したほうがよっぽどいいと思いますし、落とされることで見えてくることも多々あります。とは言え、変に身構える必要はなく、まずは根拠のない自信を持って選考に臨むこと、そしてどんなに落とされてもその根拠のない自信

だけは持ち続けるということを忘れてはいけません。

3.時代のせいにならない

就職活動が上手くいかないことを、往々にして時代のせいにする人がいますが、いただけない話です。時代のせいで就職できない人がいることはたぶんその通りなのでしょうが、たとえそうであっても時代や状況に非があるというような考え方をする人を採用したいとは誰も思いません。厳しい言い方かもしれませんが、時代に非を求める前に、自分の非を直視して下さい。

4.自己分析をしっかりと

面接では一体何を聞かれるのかという不安は誰も持ちますが、結局聞かれるのは自分自身についてです。もちろん、受ける企業について知っておくべきことは多々ありますが、別に株価とかまで知らなくても問題ないです。企業が知りたいのは自社のことをどれだけ知っているかということではなく、その学生がどんな人間でどんな考え方、行動をするか、ということだと思います。ですから、まずは自己分析をしっかりとやって、自分という人間を説明できるようにしておいて下さい。

5.その他、就活全般に役立つであろうこと

- ・東京で就活するのであれば、東京近郊に住む友達と連絡を取っておくととても便利です（U ターンなら地元の友達と）。その辺に住む学生の方が宇都宮に住む学生よりも情報を得やすい環境にいるので、自分で東京に赴く余裕があまりに無い人や、手っ取り早く情報を得たい人はそういう友達を大いに活用した方がいいです。
- ・就活には大量の写真と履歴書、封筒、成績証明書等が必要になるので、そういったものの準備はしっかりしておいた方がいいです。
- ・最近読んだ本、好きな映画、気になるニュース、尊敬する人、座右の銘あたりの話題は言うほどは聞かれませんが、一応考えておいて損はないと思います。
- ・個人面接でも集団面接でも、面接官は複数人いることが多いので、オバマ大統領の演説みたいに面接官全員に伝えるように話した方がいいと思います。

◎最後に

就職活動は面倒くさいことだらけです。不安やとまどいを抱えつつも、電車を乗り継いでようやく着いた企業で、身ぶり手ぶり一生懸命熱意を伝えた挙句に落とされようものならそりゃ投げ出したくもなりますし、愚痴りたくもなるでしょう。そんな時は大いに愚痴ればいいと思いますし、愚痴を言うのも大事な就職活動です。

ただ一つ言えることとして、中村ゼミでの経験は絶対に大きな武器になります。体調管理には気を付けて、自信を持って頑張ってください。